

## 【株式メモ】

決算期 毎年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
1単元の株式数 100株  
配当金受領株主確定日 3月31日、中間配当を行う場合は9月30日

基準日 定時株主総会については3月31日、その他必要  
ある場合はあらかじめ公告する一定の日

名義書換代理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
〒541-8502

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店  
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三  
菱UFJ信託銀行株式会社の電話およびインター  
ネットでも24時間承っております。  
TEL.0120-244-479 (本店証券代行部) /  
0120-684-479 (大阪証券代行部)

URL <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>  
上場証券取引所 東京証券取引所第二部  
大阪証券取引所ヘラクレス市場

証券コード 4971

## 免責条項

本報告書に記載している将来に関する予想については、現在入手可能な  
情報から得られた弊社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、  
さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おさください。



# メック株式会社

本社事務所 / 〒660-0881  
兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地アマックスビル 8階  
TEL.06-6414-3451 (代) FAX.06-6414-3455

URL <http://www.mec-co.com/>

## ニュースメール配信サービスのご案内

当社では、ホームページにニュースリリースや  
新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録  
者のみなさまにそのタイトルとURLを電子メー  
ルにてお知らせするサービス(ニュースメール  
配信サービス)を行っています。  
ご希望の株主さまには、メールアドレス(携帯  
電話のメールアドレス不可)を、弊社ホームペー  
ジまたは、ディア・ネットサービスシステム  
(<https://www.dirnet.jp/>) から、簡単にご登  
録いただけます(無料)。



メック株式会社

証券コード:4971

# 第37期 株主通信

2005年4月1日から2006年3月31日まで

プロフィール ①

財務ハイライト ②

株主・投資家のみなさまへ 社長が語る業績と戦略 ③

研究開発・販売体制 ⑦

トピックス ⑨

連結財務諸表 ⑪

個別財務諸表 ⑬

会社概要・株式状況 ⑭

# コンセプトは「界面創造」。

『界面』の可能性を創造することによって、メックの製品は私たちの暮らしの身近で活躍しています。

電子基板のさらなる品質向上を、メックの化学薬品が支えています。

私たちの身近にある携帯電話、自動車、家庭用ゲーム機、パソコンといったエレクトロニクス製品。これらの製品には必ず電子基板が使われています。電子基板は、エポキシやポリイミドなどの樹脂をベースに、銅で回路パターンを形成したもので、基板上には半導体や抵抗、コンデンサなどの電子

部品が搭載されています。こうした電子基板の高密度化やパターンの精細化が、今日のエレクトロニクス機器の小型化、高性能化、多機能化を支えています。そして、その製造工程においては基板上の物質と物質とが接する境界である『界面』に製造上のさまざまな課題が存在しています。この『界面』をどのように処理するかによって、製品の性能や品質も大きく異なってしまいます。

メックは、こうした樹脂基板

上に精密な電子回路を形成するための様々な界面処理技術を事業の核としています。日進月歩のエレクトロニクスの進展とともに、『界面創造』という技術テーマはますます重要性を高めており、より一層高度な技術が求められています。限りなく進化を続けるこのフィールドで私たちメックは、一步先をゆく技術トレンドに応えた製品を開発することで、エレクトロニクスの進化を支えています。



ノートパソコン



自動車



家庭用ゲーム機

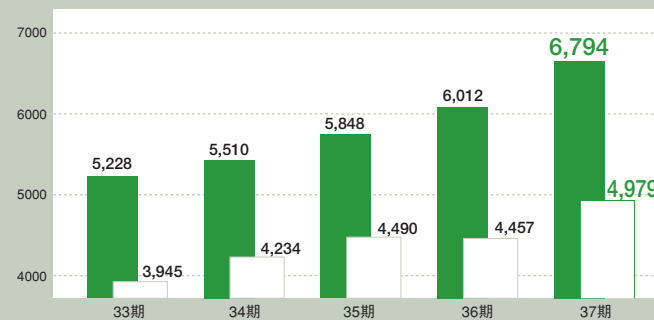


携帯電話

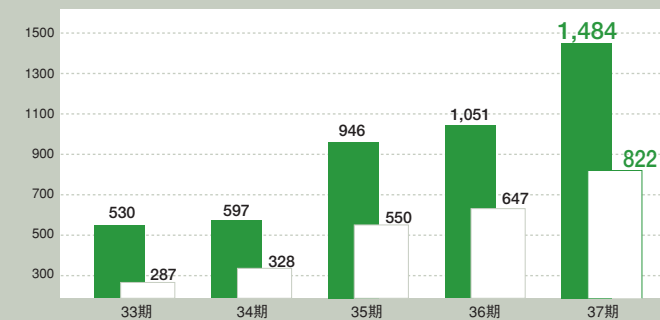
## 財務ハイライト

■ 連結 ■ 単体

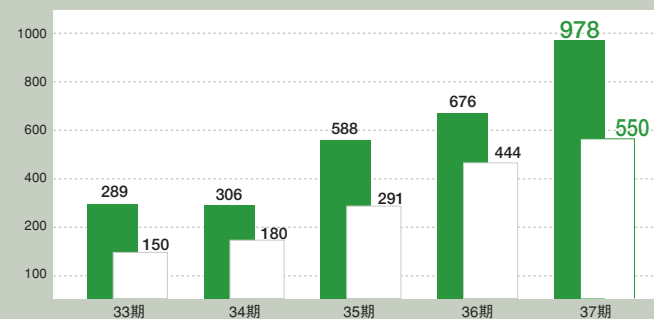
売上高 (単位/百万円)



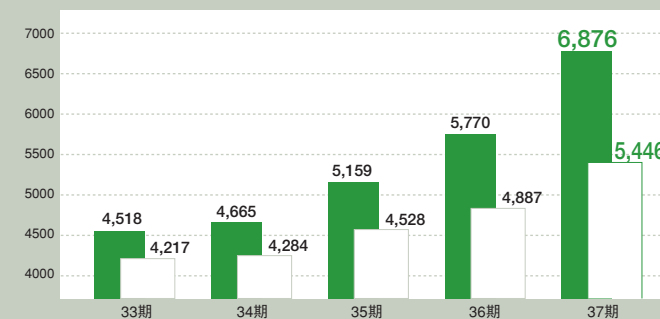
経常利益 (単位/百万円)



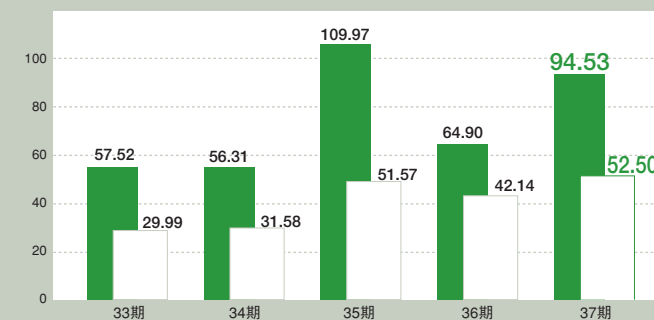
当期純利益 (単位/百万円)



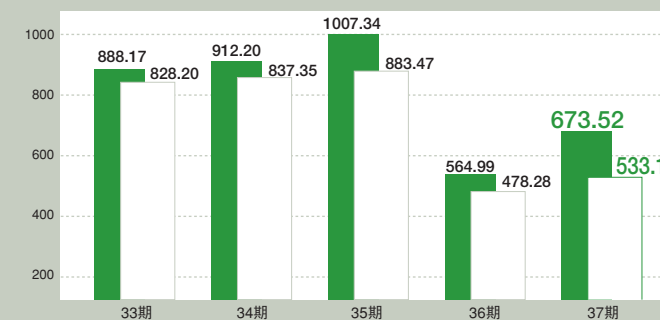
株主資本 (単位/百万円)



一株当たり当期純利益 (単位/円)



一株当たり株主資本 (単位/円)





代表取締役社長  
前田 和夫

Q

37期の業績概況および増収・増益の要因は？

各種エレクトロニクス機器に搭載される電子基板は拡大傾向に。

パッケージ基板\*製造用のCZシリーズが順調に推移し、金属表面処理剤の販売も拡大しました。

当期の世界経済を概観しますと、原油価格高騰による影響や米国における住宅投資の冷え込み等が懸念されたものの、米国経済は依然として拡大基調を維持し、中国を中心とする新興大国の需要拡大、欧州経済の緩やかな回復等を背景に、全体的に堅調に推移いたしました。わが国経済においては、企業収益の改善により設備投資や個人消費が増加し、デフレ経済からの脱却の兆しが見られ

る等、緩やかながら底堅い景気回復を示しました。エレクトロニクス業界においては、パソコンは次世代MPUへの移行が始まったものの、次期OSの販売延期などの理由により厳しい状態となりました。その一方、液晶・PDP薄型TVの普及が確実に進み、携帯電話やDVDレコーダー、車搭載機器が伸張し、これらのエレクトロニクス機器に搭載される電子基板は拡大傾向を辿りました。特にパッケージ基板については、パソコン搭載用の次世代MPU用パッケージが増加している事に加え、デジタルカメラや携帯電話のメモリー用にも市場が拡大しました。一方、パッケージ基板などの高密度電子基板以外は、生産拠点の中国への流出が顕著となっております。

このような環境の中、当社グループは電子基板用薬品の新製品開発とその販売拡

大に注力いたしました。新製品開発につきましては、当期に13品目の販売を開始し、特許は16件出願いたしました。販売面につきましては、既存製品の一部の販売が縮小しましたが、各種用途向けパッケージ基板製造用のCZシリーズを始め、銅を中心とした金属表面処理剤の販売が拡大いたしました。

その結果、当期の連結売上高は67億94百万円（前期比13.0%増）、同経常利益は14億84百万円（前期比41.1%増）、同純利益は9億78百万円（前期比44.6%増）となりました。

Q

37期における経常利益、純利益増加の要因は？

パッケージ基板の用途拡大が進んだことにより、当社

の主力商品である銅表面処理剤の売上高が前期比22.7%増となったことが主な要因です。

品目別売上高の推移を連結ベースで見ますと、当社の主力商品である薬品の売上高は61億36百万円で、前期に比べ6億62百万円（12.1%）の増加となりました。当期の経常利益、純利益が増加した主な要因は、高付加価値商品である薬品の売上高が増加したためです。こうした粗利益率が高く、売上げが利益増に直結する商品分野の需要拡大が全体の業績を引き上げる結果となりました。→図1参照

フラックス剤は別工程に置き換わったことにより前年比12.5%の減少となりました。剥離剤は新製品であるCHシリーズが剥離剤に入っているために前年比18.8%増加しました。→図2参照

Q

アジアおよび欧州市場の販売動向と今後の販売戦略は？

アジアでは台湾や韓国で当社CZシリーズが伸張、欧州では北欧とドイツは比較的好調でした。

中国では今後、欧米系、日系企業をターゲットに販売活動に注力します。→図3参照

アジアにおいては、台湾でパッケージ基板向けのCZシリーズが好調に推移し、中国では電子基板の生産量が増加したことにより、薬品販売が増加いたしました。その結

図1 品目別売上高推移 (単位/百万円)

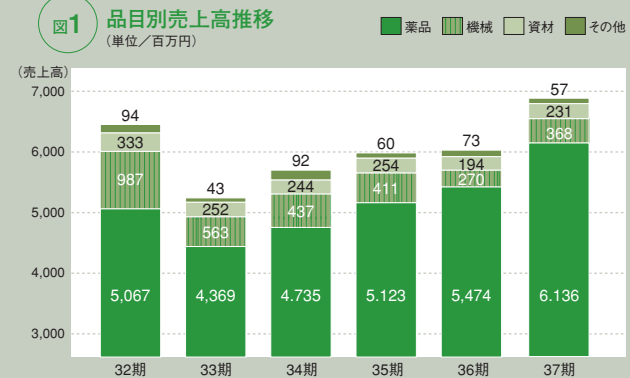


図2 薬品別売上高推移 (単位/百万円)

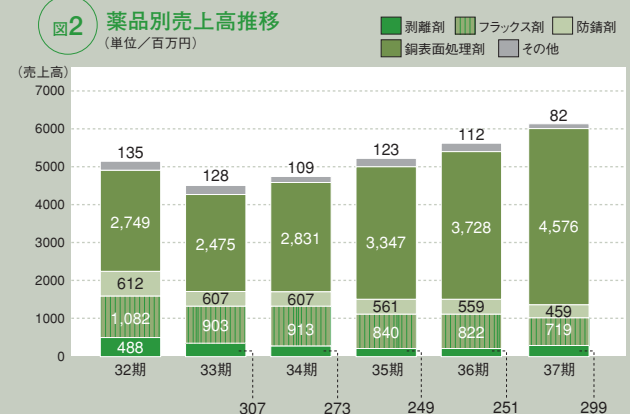
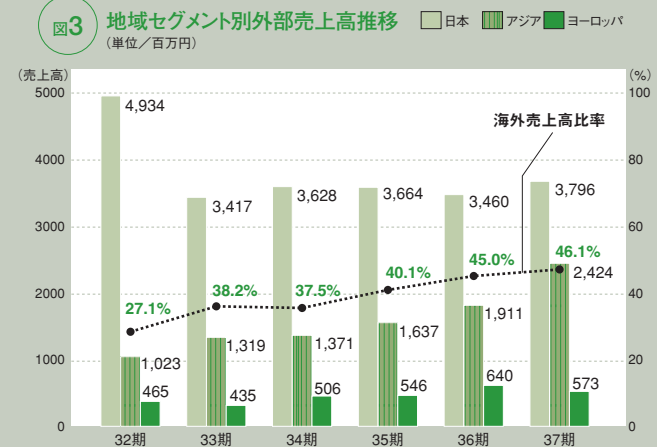


図3 地域セグメント別外部売上高推移 (単位/百万円)



\*パッケージ基板  
MPUやメモリ等の半導体を取り付け、ほこり等から保護し、電子基板に取り付ける高密度電子基板の一種。

果、当期の売上高は24億24百万円（前年同期比26.8%増）、営業利益は6億95百万円（前年同期比46.1%増）となりました。

欧州市場においては、スペインやフランスの電子基板市場が昨年に続き縮小しましたが、北欧とドイツは比較的好調でした。その結果、当期売上高は5億80百万円（前年

同期比10.8%減）、営業利益は51百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

中国を除くアジアでは台湾と韓国においてパッケージ基板が主流で、この市場では当社のCZシリーズが伸張しています。一方、中国ではパッケージ基板以外の基板生産量が飛躍的に増加していますが、中国市場ではローカル薬品メーカーとの価格競争に対抗することは難しい状況です。そこで今後の施策としては、アフターフォローや技術サポートなど、トータルなサービスを求められる現地の欧米企業や日系企業をターゲットに、販売活動に注力してまいります。欧州市場についてはフランス、イギリス等は低調な状態が続くと見えますが、東欧やロシア等も視野

に入れてマーケティング活動を継続していきます。

Q

今後とくに有望視される製品分野は？

切替え需要が期待される「V-BondダイレクトDL-7800V」と、国内需要が拡大しているポリイミドベース基板製造用薬品のCHシリーズが有望です。

次の2点の製品について有望視しています。一つめは、レーザー穴あけ前処理剤「V-BondダイレクトDL-7800V」です。電子基板製造にはレーザー光線で穴をあける工程がありますが、無処理のままの銅表面はレーザー光線を乱反射させるために強いエネルギーが必要なうえ、バリが沢山でてしまいます。そのため、レーザーシートと呼ばれるものを利用し、バリの発生を防いでいます。しかし、

この前処理剤で銅表面を処理することで、レーザーシートより安いコストで同等の結果が得られますので、切替え需要が大いに期待できます。

2つめは、ニッケル・クロム合金除去剤のCHシリーズです。液晶やPDP等に使用されているポリイミドベースのパッケージ基板は、非常に細かい配線パターンで作られています。通常、銅とポリイミドとの密着には接着剤を使用しますが、配線パターンが非常に細かい場合、ポリイミドとの密着が良いニッケル・クロム合金をつけ、その後に銅をつける方法がとられています。CHシリーズは、このとき基板表面に残った不要なニッケル・クロム合金を除去する工程に使われる製品です。こうしたポリイミドベース基板製造用薬品の需要は、国内市場を中心にこれからますます広がると見込んでいます。

Q

今後の事業展望と配当政策については？

国内では、パッケージ基板向けおよびポリイミドベース基板向け薬品の販売拡大に注力。

海外では、研究・製造・営業部門が一体となって拡販をバックアップする体制を強化します。

今後とも製品ニーズの動向把握に努め、グループ拡販体制の強化を図っていきます。国内の基板メーカー、なかでも最先端パッケージ基板を製造するメーカーと深い結びつきがあるのが、当社の強みです。電子基板の新しい製造方法はまず日本企業で開発され、その後海外に普及しますので、国内の最新動向を把握しておけば、世界の動向も予測することができるからです。

そこで国内においては、次々

世代のパッケージ基板製造用薬品およびポリイミドベース基板製造用薬品等の販売拡大に注力いたします。他方、海外での拡販体制の拡充は今後の課題です。そこで海外子会社に任せておくだけでなく、当社の研究・製造・営業部門が一体となり、バックアップする体制を強化してまいります。

利益配分につきましては、長期的な企業価値拡大のための事業活動への再投資と株主の皆さまをはじめとする各ステークホルダーに対する利益還元との均衡を基本に、当該期および今後の業績等を勘案のうえ実施する方針であります。利益配当金については、安定配当の考え方も維持しつつ期間利益の反映を図る所存であります。

今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## エレクトロニクスの発展と共に、強さを発揮するメックの技術開発力

「界面創造」のコンセプトのもと、銅の表面処理を中心に技術力でオンリーワン、ナンバーワンをめざします。

### 研究開発

#### エンドユーザーの要求品質もいち早く追隨

当社にとって技術開発は競争力の源泉です。そのためこれまで毎年、単体売上高の約10%を研究開発費に充てています。さらには、顧客ニーズをいち早く把握するため、電子基板メーカーのみならず電子

基板を使うエンドユーザーや半導体メーカーの要求品質や技術動向に対して、つねにアンテナを張り巡らして、シーズ発信につなげるマーケティング手法を導入。このほかにも大学や研究機関、企業との共同開発にも積極的に取り組み、開発スピードの向上を図っています。

#### 次々世代のパッケージ基板製造用薬品等の開発に注力

「高付加価値商品の開発」を中長期的な事業戦略の柱としてきた当社では、これまで国内においては成長分野である高密度基板市場をリードする新製品の開発と拡販に注力してきました。なかでも最先端領域の一つであるMPUパッケージ基板

向けの製品開発を通じて、独自の技術やノウハウを蓄積。こうして培った技術力をベースに、水平展開を進めています。当期以降、次世代半導体「セル(Cell)」や「デュアルコアプロセッサ」の量産体制もいよいよ本格化します。これを需要拡大の好機ととらえ、次々世代のパッケージ基板製造用薬品や最終仕上げ銅表面保護剤の開発にさらに注力していきます。

### 販売体制

#### 世界の各市場の特性に応じた製品開発を続けていきます。




海外売上高比率は、前期45.0%から当期46.1%に増加しました。なかでも中国市場の伸びによって連結売上高に占める「アジア」の売上高比率が、前期35.6%から38.5%と着実な伸びを示しています。ただし、同じアジアでもパッケージ基板を主流とする台湾や韓国の市場においては、当社が得意とする高付加価値製品の強みが発揮されていますが、汎用電子基板の一大市場である中国市場においては、現地メーカーとの価格競争になり当社の優位性が発揮しにくい傾向にあります。

そこで、安価な製品を求める現地企業ではなく、欧米企業や日系企業をターゲットに、国内メックの営業・製造・研究

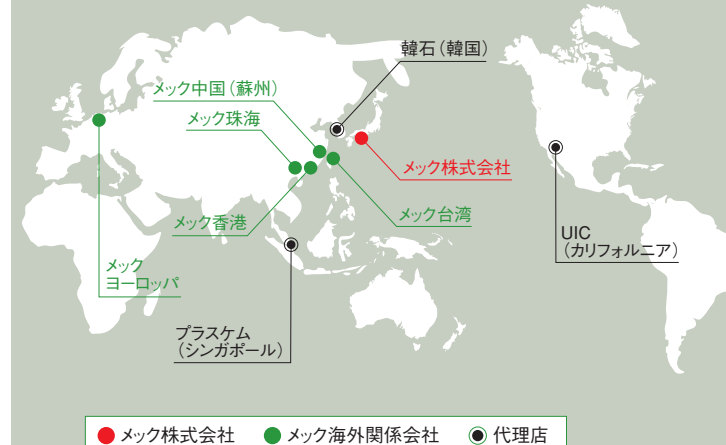
と一丸となって、アフターフォローや技術サポートなどのトータルサービスを含めた販売活動を展開しています。

また、欧州市場においては、北欧とドイツが比較的好調でしたが、スペインやフランスが不振だったため、連結売上高に占める「欧州」の売上げ比率は、前期9.1%から7.4%へと縮小しました。当面は同市場の伸びはあまり期待できませんが、マーケティング活動を続けることで、その市場が必要としている薬品の情報を絶えず研究部門にフィードバックしていく方針です。これは中国市場も同様ですが、グローバルにアンテナを張りながら世界各地の市場で受け入れられる製品開発を続けていきます。

「界面創造」技術による当社製品代表例

|            |   |  |
|------------|---|--|
| ↑<br>高付加価値 |  | <b>超微細化 CZシリーズ</b><br>銅と樹脂の密着工程があるパソコン用MPUパッケージ等の電子基板向け。銅表面に独特の凹凸を形成し、樹脂との密着性を向上させます。              |
|            |  | <b>高密度化 CHシリーズ</b><br>ニッケルクロム合金(Ni-Cr)が使用されるポリイミドベース基板向け。共存する銅のパターンを侵すことなく、Ni-Crを除去。基板の高密度化を実現します。 |
| 汎用<br>↓    |  | <b>信頼性向上 汎用基板向け薬品</b><br>実装密度の高い汎用多層電子基板向け。CZの技術を活かして、銅と樹脂の密着性を高め、電子機器の信頼性向上や不良率低下に貢献します。          |

グローバルネットワーク



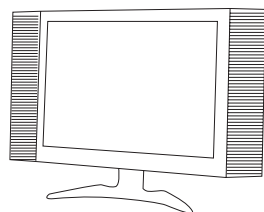
# 広がるパッケージ基板の用途とCZシリーズの特長

パッケージ電子基板の用途と市場規模は年々拡大傾向にあり、いまや同基板の製造に欠かせない当社の「エッチボンドCZ」シリーズの拡販も好調。活躍するフィールドもますます広がっています。

## 家庭用ゲーム機



携帯ゲーム機の普及が急速に進むとともに、来年には次世代型ゲーム機が次々と市場に投入される予定です。その心臓部にあたるMPUを搭載した電子基板の信頼性向上にメックのCZシリーズが役立っています。



## 携帯電話

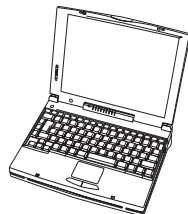
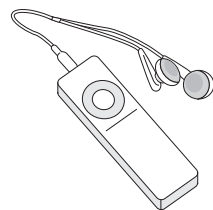


第3世代携帯への移行も急速に進み、より高速なデータ通信を実現した「3.5世代」機の登場も間近。メモリやカスタムICなどの多彩なメモリをワンパッケージ化する技術にメックの化学薬品が貢献しています。

## 携帯型音楽プレーヤー



記録媒体に半導体メモリやハード・ディスク装置を使った携帯型音楽プレーヤーの世界生産台数は2005年に5000万台を突破。販売台数は爆発的に伸びています。その製造工程でもメックの化学製品が活躍しています。



## 薄型ノートパソコン



パソコン全体の出荷台数に占めるノートパソコンの割合は年々伸びており、年率20%前後の成長が続くと予想されています。それにもなって次世代MPU搭載パッケージ基板の生産拡大が続くこの分野でも、メックの化学薬品が圧倒的な信頼を得ています。

## メックの電子基板製造用化学薬品が「熱に強い電子製品」づくりを支えています。

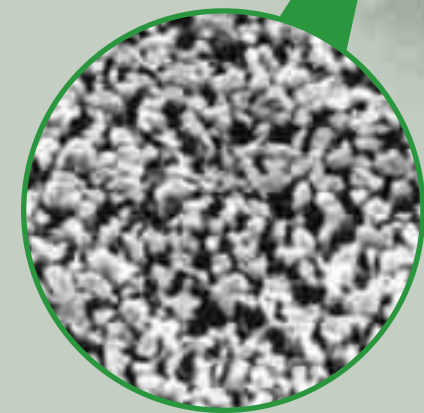
電子製品の小型化、高性能化、多機能化の追求するなかで、電子部品を搭載する基板製造においては、基板を多層構造にする手法が主流になっています。これは、よりコンパクトな基板の中に、より複雑な回路構成を納めるためです。そして、多くの電子部品が実装され高集積化した電子基板では、高熱が発生し、その結果、金属層とベースフィルムの密着性が損なわれて、機器がきちんと機能しなくなってしまう問題が起こります。

メックの電子基板製造用化学薬品は、電子基板の金属層と樹脂製のベースフィルムの密着性を向上させ、電子製品の信頼性と安全性を高める役割を果たしています。



電子基板について詳しくお知りになりたい方のために、当社Webページ内に「電子基板製造に活躍するメック」というコンテンツを公開しております。下記URLにアクセスしてください。

<http://www.mec-co.com/jp/pipit02.html>



当社銅表面粗化剤(CZシリーズ等)で銅表面に独特な凹凸形状を作ることにより、その表面に貼り付ける樹脂と銅表面との密着性が飛躍的に向上します。

# 連結財務諸表

貸借対照表(要約) (単位/千円)

| 科目                            | 当期<br>2006年3月31日現在 | 前期<br>2005年3月31日現在 |
|-------------------------------|--------------------|--------------------|
| <b>◆資産の部◆</b>                 |                    |                    |
| 流動資産                          | 6,110,833          | 5,046,702          |
| <b>Point 1</b> ▶ 現金及び預金       | 3,362,575          | 2,684,932          |
| <b>Point 2</b> ▶ 受取手形及び売掛金    | 2,160,192          | 1,829,314          |
| その他                           | 588,066            | 532,455            |
| 固定資産                          | 3,494,635          | 2,945,460          |
| 有形固定資産                        | 2,451,688          | 2,285,752          |
| <b>Point 3</b> ▶ 建物及び構築物      | 1,010,315          | 1,056,607          |
| <b>Point 4</b> ▶ 建設仮勘定        | 160,261            | 8,198              |
| その他                           | 1,281,112          | 1,220,946          |
| 無形固定資産                        | 130,538            | 117,088            |
| <b>Point 5</b> ▶ 連結調整勘定       | 43,804             | 16,548             |
| その他                           | 86,733             | 100,540            |
| 投資その他の資産                      | 912,408            | 542,619            |
| <b>Point 6</b> ▶ 投資有価証券       | 666,000            | 301,801            |
| その他                           | 246,408            | 240,818            |
| 資産合計                          | 9,605,469          | 7,992,162          |
| <b>◆負債の部◆</b>                 |                    |                    |
| 流動負債                          | 1,928,309          | 1,578,205          |
| <b>Point 7</b> ▶ 支払手形及び買掛金    | 792,395            | 606,348            |
| <b>Point 8</b> ▶ 短期借入金        | 275,659            | 552,518            |
| 1年以内返済予定長期借入金                 | —                  | 2,633              |
| <b>Point 9</b> ▶ 未払法人税等       | 306,679            | 97,962             |
| <b>Point 10</b> ▶ その他         | 553,574            | 318,742            |
| 固定負債                          | 801,151            | 600,279            |
| 長期借入金                         | 400,000            | 410,096            |
| その他                           | 401,151            | 190,183            |
| 負債合計                          | 2,729,460          | 2,178,484          |
| <b>Point 11</b> ▶ 少数株主持分      | —                  | 43,127             |
| <b>◆資本の部◆</b>                 |                    |                    |
| 資本金                           | 594,142            | 594,142            |
| 資本剰余金                         | 446,358            | 446,358            |
| 利益剰余金                         | 5,472,012          | 4,705,568          |
| <b>Point 12</b> ▶ 其他有価証券評価差額金 | 296,057            | 88,367             |
| 為替換算調整勘定                      | 67,437             | △ 63,886           |
| 資本合計                          | 6,876,008          | 5,770,550          |
| 負債、少数株主持分及び資本合計               | 9,605,469          | 7,992,162          |

(千円未満切り捨て)

損益計算書(要約) (単位/千円)

| 科目                           | 当期<br>2005年4月1日から<br>2006年3月31日まで | 前期<br>2004年4月1日から<br>2005年3月31日まで |
|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <b>Point 13</b> ▶ 売上高        | 6,794,469                         | 6,012,536                         |
| 売上原価                         | 2,565,304                         | 2,325,719                         |
| 売上総利益                        | 4,229,164                         | 3,686,816                         |
| <b>Point 14</b> ▶ 販売費及び一般管理費 | 2,803,074                         | 2,623,958                         |
| 営業利益                         | 1,426,090                         | 1,062,857                         |
| 営業外収益                        | 103,806                           | 72,817                            |
| 営業外費用                        | 45,478                            | 84,010                            |
| 為替差損                         | 59,072                            | 23,387                            |
| その他                          | 45,478                            | 84,010                            |
| 経常利益                         | 1,484,418                         | 1,051,664                         |
| 特別利益                         | 1,265                             | 104,389                           |
| <b>Point 15</b> ▶ 生命保険返戻金    | —                                 | 100,810                           |
| その他                          | 1,265                             | 3,579                             |
| 特別損失                         | 10,821                            | 96,684                            |
| <b>Point 16</b> ▶ 役員退職功労加算金  | —                                 | 64,810                            |
| その他                          | 10,821                            | 31,874                            |
| 税金等調整前当期純利益                  | 1,474,862                         | 1,059,369                         |
| 法人税・住民税及び事業税                 | 449,623                           | 268,085                           |
| 法人税等調整額                      | 34,119                            | 104,625                           |
| 少数株主利益                       | 12,606                            | 9,909                             |
| 当期純利益                        | 978,511                           | 676,749                           |

連結剰余金計算書(単位/千円)

| 科目               | 当期<br>2005年4月1日から<br>2006年3月31日まで | 前期<br>2004年4月1日から<br>2005年3月31日まで |
|------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <b>◆資本剰余金の部◆</b> |                                   |                                   |
| 資本剰余金期首残高        | 446,358                           | 446,358                           |
| 資本剰余金期末残高        | 446,358                           | 446,358                           |
| <b>◆利益剰余金の部◆</b> |                                   |                                   |
| 利益剰余金期首残高        | 4,705,568                         | 4,134,012                         |
| 利益剰余金増加高         | 978,511                           | 676,749                           |
| 当期純利益            | 978,511                           | 676,749                           |
| 利益剰余金減少高         | 212,068                           | 105,192                           |
| 配当金              | 183,342                           | 76,392                            |
| 取締役賞与            | 15,700                            | 28,800                            |
| その他              | 13,025                            | —                                 |
| 利益剰余金期末残高        | 5,472,012                         | 4,705,568                         |

(千円未満切り捨て)

連結キャッシュ・フロー計算書(単位/千円)

| 科目                                 | 当期<br>2005年4月1日から<br>2006年3月31日まで | 前期<br>2004年4月1日から<br>2005年3月31日まで |
|------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <b>Point 17</b> ▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,398,106                         | 631,440                           |
| 税金等調整前当期純利益                        | 1,474,862                         | 1,059,369                         |
| 減価償却費                              | 244,787                           | 239,642                           |
| 貸倒引当金の増加額                          | 35,004                            | 12,910                            |
| 賞与引当金の増加額                          | 22,140                            | 1,520                             |
| 役員退職慰勞引当金の減少(△)額                   | —                                 | △248,780                          |
| 受取利息及び受取配当金                        | △22,171                           | △14,790                           |
| 生命保険返戻金                            | —                                 | △100,810                          |
| 支払利息                               | 12,526                            | 14,165                            |
| 売上債権の増減(△)額                        | △294,989                          | 134,998                           |
| たな卸資産の減少(△)額                       | △30,466                           | △100,117                          |
| 仕入債権の増加額                           | 151,904                           | 20,382                            |
| 役員賞与の支払額                           | △15,700                           | △28,800                           |
| その他                                | 59,663                            | 77,126                            |
| 小計                                 | 1,637,561                         | 1,066,815                         |
| 利息及び配当金の受取額                        | 21,694                            | 15,064                            |
| 利息の支払額                             | △12,268                           | △15,690                           |
| 法人税等の支払額                           | △248,880                          | △434,750                          |
| <b>Point 18</b> ▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー | △306,874                          | △247,921                          |
| 定期預金の預入れによる支出                      | △659,386                          | △896,743                          |
| 定期預金の払戻しによる収入                      | 749,539                           | 677,512                           |
| 投資有価証券の取得による支出                     | △14,317                           | △13,583                           |
| 有形固定資産の取得による支出                     | △321,937                          | △179,592                          |
| 有形固定資産の売却による収入                     | 48,197                            | 7,169                             |
| 無形固定資産の取得による支出                     | △7,059                            | △61,100                           |
| 関係会社株式の取得による支出                     | △95,823                           | △19,523                           |
| 保険積立金の払戻しによる収入                     | —                                 | 255,962                           |
| その他                                | △6,087                            | △18,023                           |
| <b>Point 19</b> ▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー | △495,510                          | △54,534                           |
| 短期借入れによる収入                         | 680,347                           | 575,289                           |
| 短期借入金の返済による支出                      | △977,710                          | △522,881                          |
| 長期借入れによる収入                         | —                                 | 400,000                           |
| 長期借入金の返済による支出                      | △12,564                           | △223,923                          |
| 社債償還による支出                          | —                                 | △200,000                          |
| 配当金の支払額                            | △181,233                          | △77,163                           |
| 少数株主への配当金の支払額                      | △1,621                            | △1,388                            |
| その他                                | △2,728                            | △4,467                            |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額                   | 102,419                           | 14,300                            |
| 現金及び現金同等物の増加額                      | 698,140                           | 343,284                           |
| 現金及び現金同等物の期首残高                     | 2,055,048                         | 1,711,764                         |
| 現金及び現金同等物の期末残高                     | 2,753,189                         | 2,055,048                         |

(千円未満切り捨て)

各ポイント一覧

## Point 1 現金及び預金

主に税金等調整前当期純利益の計上によるものです。

## Point 2 受取手形及び売掛金

売上増に伴う売上債権の増加によるものです。

## Point 3 建物及び構築物

大きな新規取得は特になし。主に減価償却費相当額の減少によるものです。

## Point 4 建設仮勘定

当期の建設仮勘定はメック台湾における土地購入の手付金によるものです。

## Point 5 連結調整勘定

メック本社がメック香港株式20%を取得したことに伴う増加によるものです。  
 当期の建設仮勘定はメック台湾における土地購入の手付金によるものです。

## Point 6 投資有価証券

株式時価上昇による期末評価額の増加(日本)によるものです。

## Point 7 支払手形及び買掛金

売上増に伴う大型機械及び薬品原料の仕入増加によるものです。

## Point 8 短期借入金

銀行への借入金一部返済(日本、ヨーロッパ、蘇州、珠海)によるものです。

## Point 9 未払法人税等

法人税、住民税及び事業税の増加(主に日本)によるものです。

## Point 10 その他

主に設備関係支払手形の増加(日本)によるものです。

## Point 11 少数株主持分

メック香港株式20%買取によるものです(すべて100%子会社となる)。

## Point 12

### 其他有価証券評価差額金

株式時価上昇によるものです。

## Point 13 売上高

前期に比べ781百万円(13.0%)の増収。そのうち薬品売上については6,136百万円となり前期よりも662百万円(12.1%)増加となりました。

## Point 14 販売費及び一般管理費

主に日本において増加(人件費、荷造・運搬費、貸倒引当金繰入額、旅費交通費、研究開発費)となりました。

## Point 15 生命保険返戻金

前期は役員退職慰勞金支払に充当します。

## Point 16 役員退職功労加算金

前期は役員退職に伴う慰勞金(功労加算分)です。

## Point 17

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は13億98百万円(前期比7億66百万円増)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が14億74百万円(前期比4億15百万円増)計上したこと、および仕入債権が増加(前期比1億31百万円増)したこと、更に法人税等の支払額が前期と比べ1億85百万円減少したこと等により、資金増加に貢献したものの、資金減少要因として売上債権が増加(前期比4億29百万円減)したこと等により、資金の増加が一部相殺されたことによるものであります。

## Point 18

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は3億6百万円(前期比58百万円増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が3億21百万円(前期比1億42百万円増)あったこと、関係会社株式の取得による支出が95百万円(前期比76百万円増)あったこと等によるものであります。

## Point 19

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は4億95百万円(前期比4億40百万円増)となりました。これは主に借入金が全体として3億9百万円減少したこと、および配当金の支払が1億81百万円(前期比1億4百万円増)あったこと等によるものであります。

# 個別財務諸表

## 貸借対照表(要約) (単位/千円)

| 科目            | 当期<br>2006年3月31日現在 | 前期<br>2005年3月31日現在 |
|---------------|--------------------|--------------------|
| <b>◆資産の部◆</b> |                    |                    |
| 流動資産          | 4,147,794          | 3,547,793          |
| 現金及び預金        | 2,138,631          | 1,600,184          |
| 売掛金           | 1,151,588          | 981,102            |
| 原材料           | 131,397            | 109,789            |
| 繰延税金資産        | 76,603             | 50,172             |
| 関係会社短期貸付金     | 42,840             | 83,250             |
| その他           | 606,733            | 723,293            |
| 固定資産          | 3,422,494          | 3,027,495          |
| 有形固定資産        | 2,006,447          | 1,999,084          |
| 建物            | 856,439            | 903,465            |
| その他           | 1,150,007          | 1,095,619          |
| 無形固定資産        | 84,689             | 99,100             |
| 投資その他の資産      | 1,331,357          | 929,310            |
| 資産合計          | 7,570,289          | 6,575,288          |
| <b>◆負債の部◆</b> |                    |                    |
| 流動負債          | 1,583,417          | 1,233,969          |
| 買掛金           | 171,105            | 180,185            |
| 短期借入金         | 230,000            | 380,000            |
| 未払金           | 161,947            | 90,885             |
| 未払法人税等        | 204,372            | 26,696             |
| 未払消費税等        | 19,660             | —                  |
| その他           | 796,332            | 556,202            |
| 固定負債          | 540,462            | 454,010            |
| 負債合計          | 2,123,880          | 1,687,980          |
| <b>◆資本の部◆</b> |                    |                    |
| 資本金           | 594,142            | 594,142            |
| 資本剰余金         | 446,358            | 446,358            |
| 利益剰余金         | 4,109,849          | 3,758,439          |
| 利益準備金         | 63,557             | 63,557             |
| 任意積立金         | 3,300,000          | 3,100,000          |
| 当期末処分利益       | 746,292            | 594,881            |
| その他有価証券評価差額金  | 296,057            | 88,367             |
| 資本合計          | 5,446,408          | 4,887,308          |
| 負債・資本合計       | 7,570,289          | 6,575,288          |

(千円未満切り捨て)

## 損益計算書(要約) (単位/千円)

| 科目           | 当期<br>2005年4月1日から<br>2006年3月31日まで | 前期<br>2004年4月1日から<br>2005年3月31日まで |
|--------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高          | 4,979,694                         | 4,457,287                         |
| 売上原価         | 2,073,040                         | 1,854,720                         |
| 売上総利益        | 2,906,654                         | 2,602,566                         |
| 販売費及び一般管理費   | 2,222,265                         | 2,058,521                         |
| 営業利益         | 684,389                           | 544,045                           |
| 営業外収益        | 151,382                           | 120,078                           |
| 営業外費用        | 12,959                            | 16,445                            |
| 経常利益         | 822,812                           | 647,678                           |
| 特別利益         | 331                               | 101,640                           |
| 特別損失         | 8,032                             | 76,248                            |
| 税金前当期純利益     | 815,111                           | 673,071                           |
| 法人税、住民税及び事業税 | 282,150                           | 136,753                           |
| 法人税等調整額      | △ 17,492                          | 91,391                            |
| 当期純利益        | 550,452                           | 444,926                           |
| 前期繰越利益       | 256,953                           | 149,955                           |
| 当期末処分利益      | 746,292                           | 594,881                           |

## 利益処分計算書 (単位/千円)

| 科目         | 当期<br>2005年4月1日から<br>2006年3月31日まで | 前期<br>2004年4月1日から<br>2005年3月31日まで |
|------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| I 当期末処分利益  | 746,292                           | 594,881                           |
| II 利益処分量   |                                   |                                   |
| 配当金        | 132,414                           | 122,228                           |
| 取締役賞与金     | 15,700                            | 15,700                            |
| 任意積立金      |                                   |                                   |
| 別途積立金      | 300,000                           | 200,000                           |
| 計          | 448,114                           | 337,928                           |
| III 次期繰越利益 | 298,178                           | 256,953                           |

(千円未満切り捨て)

# 会社概要

## 会社概要 (2006年3月31日現在)

商号 …… メック株式会社  
 本社事務所所在地 …… 兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地アマックスビル  
 設立年月日 …… 1969年(昭和44年)5月1日  
 資本金 …… 594,142,400円  
 事業内容 …… 電子基板製造用薬品、機械装置及び各種資材の製造販売

## 役員 (2006年6月23日現在)

代表取締役社長 前田和夫 執行役員 北村伸二  
 取締役兼専務執行役員 内野登一 執行役員 中川登志子  
 取締役兼常務執行役員 溝口芳朗 執行役員 成田英敏  
 取締役 岩倉襄 執行役員 長井真  
 執行役員 神田寛 監査役(常勤) 藤山正人  
 執行役員 三田明 監査役(常勤) 高岡忠之  
 執行役員 松下太郎 監査役 関川正之

## 国内事業所

東京営業所 …… 東京都立川市栄町六丁目1番1号立飛ビル7号館7階  
 TEL.(042)538-1080(代) / FAX.(042)538-1090

新潟営業所 / 長岡工場 …… 新潟県長岡市西陵町221番地36  
 TEL.(0258)47-2490(代) / FAX.(0258)47-2492

西宮工場 …… 兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目1番19号  
 TEL.(0798)46-8588(代) / FAX.(0798)46-8688

研究所 …… 兵庫県尼崎市東初島町1番地  
 TEL.(06)6401-8170(代) / FAX.(06)6401-8172

## 海外関係会社

メック台湾 [台湾美格股份有限公司]  
 中華民国台湾省桃園縣蘆竹鄉内厝村内溪路15號  
 TEL.886-3-324-3455 / FAX.886-3-324-5228

メックヨーロッパ [MEC EUROPE NV.]  
 Kaleweg 24-26,B-9030 Gent, Belgium  
 TEL.32-9-216-7272 / FAX.32-9-216-7270

メック香港 [MEC (HONG KONG) LTD.]  
 No.8 12/F., Tower 3 China Hong Kong City,33 Canton Road,Tsimshatsui,Kowloon  
 TEL.852-2690-2255 / FAX.852-2690-2262

メック珠海 [美格精細化工(珠海)有限公司]  
 中華人民共和国広東省珠海市金灣區三灶鎮安基東路530号  
 TEL.86-756-7622328 / FAX.86-756-7622628

メック中国(蘇州) [美格特殊化学(蘇州)有限公司]  
 中華人民共和国江蘇省蘇州市蘇州工業園區蘇虹西路155号  
 TEL.86-512-6745-1990 / FAX.86-512-6745-1993

# 株式状況

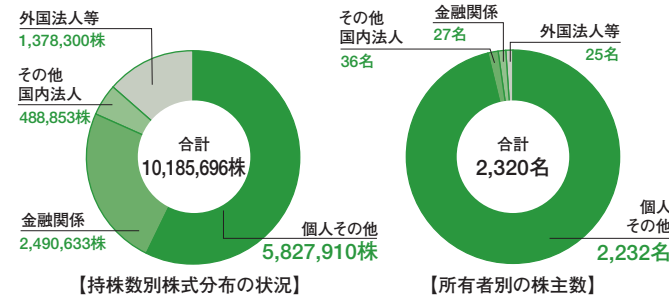
## 株式状況 (2006年3月31日現在)

発行済株式総数 1,018,696株 ※  
 株主数 2,320名

## 大株主

| 株主名                       | 当社への出資状況<br>持株数(千株) | 議決権比率(%) |
|---------------------------|---------------------|----------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,564               | 15.36    |
| 前田 耕作                     | 882                 | 8.66     |
| ゴールドマンサックスインターナショナル       | 753                 | 7.39     |
| 川邊 豊                      | 749                 | 7.35     |
| 小林 義雄                     | 639                 | 6.28     |
| 腰高 修                      | 501                 | 4.92     |
| 小垣 守                      | 497                 | 4.88     |
| 前田 和夫                     | 326                 | 3.21     |
| 有限会社ケイ・エム・ビジネス            | 300                 | 2.94     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 236                 | 2.32     |

## 株式分布状況 (2006年3月31日現在)



## 株式状況 (2006年3月31日現在)



※2006年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を実施しております。